



contents

- ➡ 認知症講座(6回)・・・P1
- ➡ 乳酸菌について・・・P2
- ➡ 院内研修・作品展・・・P3
- ➡ 演奏会・お買い物ツアー・・・P4
- ➡ 新年のご挨拶・・・P5
- ➡ 外来・入院患者延数・・・P6
- ➡ おすすめレシピ・・・P6

〒367-0212

埼玉県本庄市児玉町児玉 720

TEL.0495-73-1611

Fax.0495-73-1616

患者さまの権利

当院では、患者さまと信頼関係で結ばれた「患者さま中心の医療」を行うことを目指しています。ここに「患者さまの権利と責任」を掲げ、これを尊重致します。

- ・安全で適切な医療を公平に受ける権利があります。
- ・人権とプライバシーに配慮される権利を有します。
- ・検査、治療、その他の医療行為に同意し、選択あるいは拒否することができます。拒否した場合においても不利益を生ずることなく、同様な治療を受けることができます。
- ・医療の情報を知り、セカンドオピニオンを受ける権利があります。
- ・精神保健福祉法等の法律に基づいた適切な手続きが保障される権利があります。

患者さまは、以上のもと、治療上のルールを守り、医療を受ける権利があります。

理念

患者さまの権利と尊厳を尊重し、笑顔と愛の心で
 全人医療へ奉仕します

基本方針

- 1・私達は、地域に密着した精神科医療の提供と的確な認知症のケアを実践します。
- 2・私達は、患者さまの意思と人権を尊重し、心の通った、愛の心で医療を提供します。
- 3・私達は、患者さま並びにご家族の信頼を得、満足度の向上に努めます。
- 4・常に医療技術の研鑽と知識の習得に努め、安全で良質な医療を提供します。
- 5・私達は、理念達成のため、健全経営の維持向上に励みます。

一診療科目一
 精神科 平日 AM 9:00~12:00
 PM 2:00~5:00
 TEL 0495-73-1611
 FAX 0495-73-1616
 休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・祭日
 (土曜日午前)
 入院随時 各種保険取扱い
 完全予約制となっております。



編集後記

インフルエンザの感染拡大が広がる日本列島ですが、当院では患者さまの発症が現在報告等はありません。

職員一同、手指消毒等の感染予防を徹底しております。

雪がチラつく日があり、寒さを感じていますが、暖かな春を心待ちにしている日々です。

編集発行

2015年1月

医療法人(社団)明雄会 本庄児玉病院

広報誌グループ

〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 720

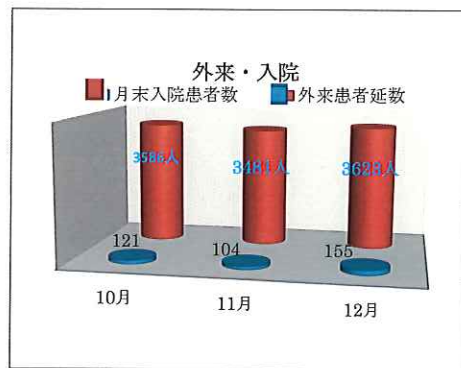
TEL. 0495-73-1611 fax. 0495-73-1616

はにぼん号・もといずみ号のご利用案内

はにぼん号(本庄・本庄西・児玉町)の運行日時	
月～土曜日	8:00～17:00
(日曜・休日・12/29～1/3は運行) 日曜前乗り乗降は17:00	
もといずみ号(児玉山)の運行日時	
月～土曜日	出向 行先 児玉山の出発時刻(本庄駅前)の時刻表を参照してください。
日曜・休日	児玉山 児玉山 8:00 10:00 13:00 14:00 16:30 18:10
12/29～1/3は運行	児玉山 児玉山 7:20 9:00 11:00 14:00
(※) 中学生以上の方のみ、児玉山での乗降ができません。(※1～3は運行)	



	月	火	水	木	金
午前	高野	新谷	高野	斎藤	斎藤
午後	高野	新谷	高野	斎藤	斎藤



認知症講座 (第6回)

院長 高野 寛

認知症とは

今回は前回の続きを掲載いたします。

「自分というもの」について (後篇)

さらに話を進めれば、これは心の病を抱えた場合に時に問題となる。

うつ病や統合失調症などの精神科領域の主な疾患では、「病識」といって、自分が病気であるということが、基本的にはきちんと認識できないということが病気の一つの特徴とされている。(これもそもそも自分というものが見えにくいという事の延長にあるものだと思われる。)

実際にはある程度本人にも分かっている場合もあるが、やはり本当の部分ではきちんとは認識できていない事が多い。

それは本人が知識と経験のある精神科医であったとしても同様であるので、これはよく考えるととても恐ろしいことである。(多少の内省やセルフケアはできるかもしれないが、本質的には自己診断できない。)

うつ病となった精神科医に対して、「あなたはうつ病ですから薬と休養が必要です。」といっても、「いや、そんなことはない！自分はうつなんかではない！」という返事が返ってくることは容易にありえることなのである。

神経症などは病識がある程度あるとされているが、しかしこれも本当の意味での客観的認識はできていないと思われる。つまり自分というものはやはり見えにくいのである。

さらに言えば、「自分は正常」と思っている人でも、それは全く主観的なものであるということである。同じ「自分は正常」と思っている人でも、もし精神科を受診すれば、ある人は「うつ病」、ある人は「統合失調症」、ある人は「神経症」などと診断される可能性がありうるということだ。

もしある日突然家族などに無理やり精神科に連れて行かれ、あなたは「統合失調症ですから入院しなければいけません！」と告知されたらどうだろうか？おそらく「は？自分は全くおかしくなっていない！入院なんて絶対いやだ！」と言うだろう。

しかしこれは実際に統合失調症の患者さんを入院させるときに、本人が言うセリフと全く同様なのである。

自分がはたして正常なのか、異常なのか？精神科医の判断が全てなのか？

よくよく考えるとこれは大変恐ろしく、また人間存在の本質にも関わる重要な問題を秘めているのではないかと思う。

ひとまず「精神科医」という立場を忘れて、あえて誤解を恐れずに言えば、最終的には「正常」か「異常」かの判断は(もしそれが「ある」なら)、精神科医が決めるものでも、法が決めるものでも、多数決で決めるものでもなくて、「神様」が決めるものなのだと思う。

それはつまり「正常」だとされる我々全体が、本当は大いに「異常」であるかもしれないという可能性を実は誰にも否定できないということである。このことの本当の意味をもし理解していただけたら、大変恐ろしい事実が気が付くことと思われる。

認知症 Q&A・他の疾患冊子を作成し当院待合ホールに置いてありますので自由にご覧ください。(お持ち帰りいただいても結構です。)



栄養課 おすすめレシピ

白菜のクリーム煮

材料 (2人前)

白菜…1/4 株	たまねぎ…1/2 個
ベーコン…2 枚	コンソメ…1 個
油…小さじ1	水…2 カップ
牛乳…1 カップ	生クリーム…1/2 カップ
片栗粉…少々	塩・こしょう…適量

作り方

- ① フライパンに油をしき、たまねぎとベーコンを炒める。
- ② たまねぎが透き通ってきたら、白菜と水とコンソメを加え、弱火で煮込む。
- ③ 白菜がしんなりしてきたら、牛乳と生クリームを加え、とろ火で煮る。
- ④ 水溶き片栗粉でとろみをつけ、塩・こしょうで味をととのえる。

白菜の特徴

最も美味しい季節は、下が降りる頃の晩秋から冬にかけて 11月～2月頃です。

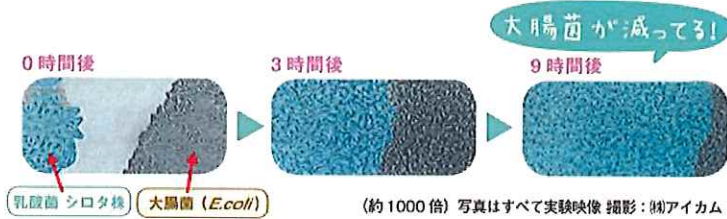
白菜の約95%は水分ですが、ビタミンC、カリウム、カルシウム、マグネシウムなどがバランスよく含まれています。また、辛み成分であるイソチオシアネートも含まれており、これはがん予防にも効果が期待できます。



こんな
研究結果が!

「乳酸菌 シロタ株」には悪い菌を減らす働きが!

おなかの中の有害な菌は、生活習慣の乱れや抗生物質の服用など、ちょっとしたことが原因で増え、体に悪影響を及ぼします。「乳酸菌 シロタ株」には、そんな有害な菌を減少させる働きがあります。実際に、「乳酸菌 シロタ株」と大腸菌をいっしょに培養する実験を行ったところ、時間経過とともに、大腸菌が減少するという結果に! このように、生きたまま腸までとどき、腸内細菌のバランスを整えてくれる「乳酸菌 シロタ株」ですが、摂取から早い人で1週間ほどしか腸内にとどまっていることができません。毎日の摂取を習慣づけるのが、腸を健やかに保つヒケツです。



「R-1 乳酸菌」が免疫に関係するナチュラルキラー細胞 (NK 細胞) の活性を上げて免疫力を向上させる、と考えられています。



みんなで取り組む インフルエンザ予防対策

規則正しい生活を バランスの良い食事、十分な休息をとる、疲労をためず、体力・抵抗力を高めます。	外出後は、うがい、手洗い 手洗いは、石けんを使って、ていねいに洗い、水分を十分にふきとりましょう。(※手拭紙)
咳エチケット 咳が出る場合には、マスクをつけるなどの咳エチケットを心がけましょう。	不要・不慮の外出はひかえる 人が多く集まる場所への外出は、できるだけひかえましょう。
正確な情報を収集 情報は刻々と変わりますので、常に新しい情報を確認しましょう。 <small>©大和製薬株式会社 (http://www.daiyama-pharmaceutical.com/jp/)</small> <small>©厚生労働省 (http://www.mhlw.go.jp/)</small>	

冬に向けて、インフルエンザが流行しやすくなります。インフルエンザに「かからない」「うつさない」よう、日頃から感染予防を心がけましょう!

2015年(平成27年) 新年のご挨拶

本庄児玉病院 事務長 石井 由美子

新年あけましておめでとうございます。
年頭にあたり新春のお慶び申し上げます。

日頃、本庄児玉病院の運営に当たり、社員の皆様をはじめ多数の皆様から多大なご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は本庄地区でも稀な「豪雪」となり、交通機関の麻痺などの現象が起きました。このような状況を常に踏まえながら施設管理に万全を期せねばと思っております。また、当院は昨年「日本医療機能評価機構」を受審し認定を取得いたしました。今回の受審の過程で病院の水準が高まったと感じておりますし、今後さらに医療の質の向上に努めるように職員一同努力していく所存でございます。

現在の医療は団塊の世代の高齢化に伴い、2025年には75歳以上の高齢者人口の比率は17%に達し、以後も確実に増加していくことが明らかになっております。当然のことながら、高齢者における受診率は高く医療・看護の費用は大きく膨れ上がることが予想されます。

また、認知症を患う患者様の数は予備軍を含め800万人以上と言われております。こうした中、認知症を専門とした当院においても患者様の権利と尊厳を尊重し診療・介護に従事してまいります。

医療経営環境は依然として厳しい状況ではありますが、今年も気持ちを引き締め安全で質の高い医療を提供していける様努力してまいります。

最後になりましたが、今年が皆様にとって有意義な年になります様祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。



本庄児玉病院は、25年度からエコキャップ推進協会へ寄付する目的でキャップを回収しています。

26年度は、10,750個=ワクチン12.5本

児玉中学校吹奏楽部 演奏会



きれいな迫力ある
演奏に大満足のひ
と時が過ぎていま
したね。!!



11月17日《院内研修》
【院内感染対策】



手指消毒の大
切さを再認識
しましょう!

患者さまのロールペーパー作品



季節ごとの作品を製作して掲示
しています。かわいらしいですよ



ベシア本庄早稲田店 お買い物ツアー

病院を離れてバスでお出
掛けです。
患者様の顔からは、沢
山の笑顔と笑い声が響い
ていました。
ピクニック気分でのバス
中は草原のトロコバスの
ようです。

